

応援を受けながら校区内を疾走

相野谷中学校が駅伝大会を実施

相野谷中学校は2月7日、桐原地区から大里地区までをコースとした駅伝大会を行いました。

これは、生徒同士の絆を深めるとともに、冬の寒さに打ち勝つ体力づくりの一環として毎年行っているものです。

生徒たちは3チームに分かれ、上桐原バス停を出発し、蛇塚バス停で折り返し、相野谷中学校に戻るまでの5区間、総距離約9.6kmのコースを完走しました。

沿道やチェックポイントでは、地域の住民や相野谷小学校の児童、相野谷保育所の園児たちが手を振りながら一生懸命声援を送り、生徒たちは応援に応えるように元気に走っていました。

Town topics

2 / 7



小学生のエールを受けながら疾走する生徒

地域の活性化と食文化の継承を目的に

浅里で「なれ寿しまつり」を開催

飛雪の滝百姓塾は1月26日、飛雪の滝キャンプ場健康増進広場で、「第6回 元気やで！浅里なれ寿しまつり」を開催しました。

このイベントは、地域住民総出で地域の活性化と地元の食文化である「なれ寿し」を広く知ってもらうことを目的として開催しており、なれ寿しや地元野菜の販売のほか、豚汁やお酒を買った人たちには、なれ寿しが振る舞われました。

また、紀の宝みなと市の出店者による物産販売や、飛雪の滝キャンプ場も出店し、訪れた約400人の方々は地元食文化に舌鼓をうち、交流を深めるなどイベントを楽しんでいました。

Town topics

1 / 26



01. なれ寿しの振る舞い。
02. なれ寿しをおいしそうに食べる来場者。



紀宝町文化講演会を開催

林家三平さんが笑いと人生を語る

町文化協会は1月19日、まなびの郷で落語家の林家三平さんを招き、「笑いと人生」をテーマに文化講演会を開催しました。

同講演会には約300人が来場し、林家さんは自身が落語家になるまでとその後を紹介し、人生訓や笑いについて語りました。また、笑うことで脳が活性化され、元気になるとして、「頭を元気にする体操」を来場者たちと一緒に実践しました。

最後は高座に上がり、初代・林家三平さんから教わった落語「味噌豆」を披露し、終始会場は笑い声に包まれていました。

Town topics

1 / 19



落語を披露する林家三平さん



税金の役割を小学生に説明する町職員

Town topics

1 / 28

税は「社会を支えるための会費」

成川小学校で租税教室を開催

町は1月28日、成川小学校の6年生を対象に「税金ってなんだろう？」と題して、租税教室を開催しました。

これは、普段支払っている消費税などの税金がどのように使われているのを知り、税金の必要性を理解してもらうために尾鷲税務署が中心となって毎年開催しているものです。

町職員が消費税など身の回りの税金について話したほか、税金の役割を伝えるDVDを放映し、税金は「みんなの社会を支えるための会費」と伝えました。

授業を受けた児童たちは「税金がなくなると困ると思いました」「税金があることでいまの暮らしが支えられていることがわかった」と税の仕組みや大切さを学びました。

第3ブロックが救急救護訓練を開催

災害に強い地域を目指し訓練

紀宝町町民防災会議第3ブロック会議（相野谷地区）は1月18日、相野谷小学校で救急救護訓練を開催しました。

これは、町全体で防災対策に取り組み、自分の命は自分で守るという住民の意識高揚を目的に行われたものです。

第3ブロックでは、トリアージや心肺蘇生法、応急担架を使った搬送訓練などのほか、非常食の試食を通して防災意識を高めました。

参加者たちは、消防署職員等の説明を受けながら真剣な表情でそれぞれの訓練に熱心に取り組んでいました。

Town topics

1 / 18



熱心に訓練に取り組む参加者たち

「もっと知りたい!みえの現場すごいやんかトーク」

知事とげんき塾生が意見交換

県は1月24日、井内地区のkokoro食堂で、「もっと知りたい!みえの現場すごいやんかトーク」を開催しました。

これは、鈴木英敬知事が現場に出向き、対話を行うことで地域のみなさんが地域と自らの活動に誇りを持ち、持続可能な地域づくりをよりいっそう進められるように行っているものです。

参加したげんき塾メンバー6人は、活動を通してよかったことや課題、今後の活動について意見を出しました。

メンバーは、「自分たちも楽しめるものを考えたい」、「困難なことがあっても突き抜けたことをやりたい」などと話し、それに対し知事は、「試行錯誤しながらがんばってください」などとエールを贈りました。

Town topics

1 / 24



01. 参加者で記念撮影。
02. 活動について語るリーダーの山瀬さん。

